



# 平成26年8月期 第2四半期決算説明会

平成26年4月23日



[1] 平成26年8月期 第2四半期決算概要 P2

[2] 平成26年8月期 第2四半期の取組み P8

[3] 平成26年8月期 業績見通し P12

[4] 今後の展開 P15

参考資料 P25

# [1] 平成26年8月期 第2四半期決算概要



## 業績

■ 直近の経営環境は、大手カラオケチェーン店の積極的な出店によるカラオケルームの供給過剰を背景に厳しい状況が続いている。売上高は対前年+3.2%の50.8億円。

一方 利益面では、昨年度に引続き、新店に伴うイニシャルコスト計上と電力料値上げによる原価増、競合激化による既存店シェアの減少に加え、海外事業(韓国)の業績不振により営業利益は前年比で▲58.7%の0.7億円(期初予想下方修正)。

■ 厳しい競合環境に加え、消費税率引上げによる消費活動への影響が懸念される中、下期は、引続きカラオケルーム運営事業に注力し、潜在的に収益力の高い店舗への積極的な営業施策と管理可能な店舗原価と販管費のコスト管理強化に取組み、収益面とコスト面で業績回復を図る。

## 事業活動

- カラオケルーム運営事業：上期2店舗をオープンし、首都圏67店舗(ヒトカラ含む)。
- 差別化戦略としてのオリジナル楽曲制作：メジャー楽曲を加え15,000曲。

# 決算ハイライト（連結）

TETSUJIN

（単位：百万円）

	25/8月期 2Q	26/8月期 (2Q期初計画)	26/8月期 (2Q実績)	前年同期比 増減率	計画比 増減率
売上高	4,928	5,388	5,087	3.2%	▲5.6%
営業利益	181	186	74	▲58.7%	▲59.8%
経常利益	140	129	56	▲60.1%	▲56.6%
四半期純利益	12	24	▲26	—	—
EPS（円）	2.09	3.87	▲4.31	—	—

※計画値は、平成25年10月15日開示

- 国内事業は全て黒字、海外事業の業績不振が利益に大きく影響
- カラオケルーム事業(対前年)
  - 当期新店 > インシャルコスト計上 31百万円
  - 既存店 > 競合激化によるシェア減少で客数減少(約▲4.9%) > 売上高▲4.2%
- CP事業、カフェ事業は業績に貢献

# 貸借対照表（連結）

（単位：百万円）

	25/8月期	26/8月期 2Q	増減額
流動資産	3,619	2,454	▲1,164
現金及び預金	2,661	1,711	▲949
受取手形及び売掛金	175	146	▲28
たな卸資産	151	145	▲6
その他	630	451	▲179
固定資産	7,451	7,515	63
有形固定資産	4,566	4,519	▲47
無形固定資産	493	538	44
投資その他資産	2,391	2,457	66
資産合計	11,070	9,969	▲1,100
流動負債	4,134	3,524	▲609
借入金短期・1年以内返済等	2,840	2,528	▲312
買掛金・未払費用・未払金	907	690	▲217
その他	386	306	▲80
固定負債	5,229	4,782	▲447
社債・長期借入金	4,830	4,447	▲383
その他	398	334	▲63
負債合計	9,363	8,307	▲1,056
純資産	1,706	1,662	▲43
負債純資産合計	11,070	9,969	▲1,100

## 資 産

- 現金及び預金の減少 949百万円
- 固定資産の増加 63百万円
  - ・新店・リニューアル等 239百万円  
（有形固定資産・差入保証金）
  - ・のれん償却 ▲36百万円
  - ・減価償却 ▲176百万円

## 負 債

- 短期・長期借入金等の減少 695百万円
- 未払費用の減少 99百万円
- 買掛金の減少 82百万円

## 純 資 産

- 利益剰余金の減少 73百万円
- 為替換算調整勘定の増加 28百万円

# キャッシュ・フロー計算書（連結）

TETSUJIN

（単位：百万円）

	25/8月期 2Q	26/8月期 2Q	増減額
1 営業キャッシュ・フロー	186	257	70
2 投資キャッシュ・フロー	▲837	▲401	436
フリー・キャッシュ・フロー (1+2)	▲651	▲144	507
3 財務キャッシュ・フロー	▲130	▲812	▲681
現金及び 現金同等物の期末残高	2,201	1,632	▲568

## [ 営業 C F ]

収入又は増加の主な内訳

- 税金等調整前当期純利益 53百万円
- 減価償却費 271百万円

支出又は減少の主な内訳

- 法人税等の支払 63百万円

## [ 投資 C F ]

新規出店等に伴う支出

- 有形固定資産の取得 280百万円
- 無形固定資産の取得 75百万円
- 店舗入居保証金の差入 71百万円

## [ 財務 C F ]

収入の主な内訳

- 短期・長期借入 950百万円

支出の主な内訳

- 短期・長期借入金返済 1,645百万円
- 社債償還 100百万円

# 事業別売上高・セグメント利益

TETSUJIN

※売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

(単位:百万円)

		25/8月期 2Q	26/8月期 2Q	前年同期比 増減率
カラオケルーム運営事業	売上高	3,977	4,224	6.2%
	セグメント利益	429	325	▲24.3%
フルサービス型珈琲ショップ運営事業	売上高	335	383	14.5%
	セグメント利益	19	5	▲70.3%
CP事業	売上高	275	230	▲16.1%
	セグメント利益	50	87	74.7%
その他	売上高	557	471	▲15.4%
	セグメント利益	▲6	▲0	—

- カラオケルーム運営・・・ (国内)新店2店舗、既存店2店舗のリニューアルを実施 > 売上高 4,186M、セグメント利益 397M  
(韓国)営業戦略途上での業績不振 > 売上高 37M、セグメント利益 ▲72M
- フルサービス型珈琲ショップ運営・・・ (国内)業績は安定して堅調 > 売上高342M、セグメント利益 14M  
(台湾)台中・からふね屋珈琲店 > 41M、セグメント利益 ▲8M
- CP事業・・・ モバイル会員数は逡減(対前期比▲9.9%)しているが、会員獲得コストの削減で利益は大幅UP。
- その他・・・ ビリヤード・ダーツ、複合カフェ、音響機器販売、日式レストラン(1Qのみ)

## [2] 平成26年8月期 第2四半期の取組み

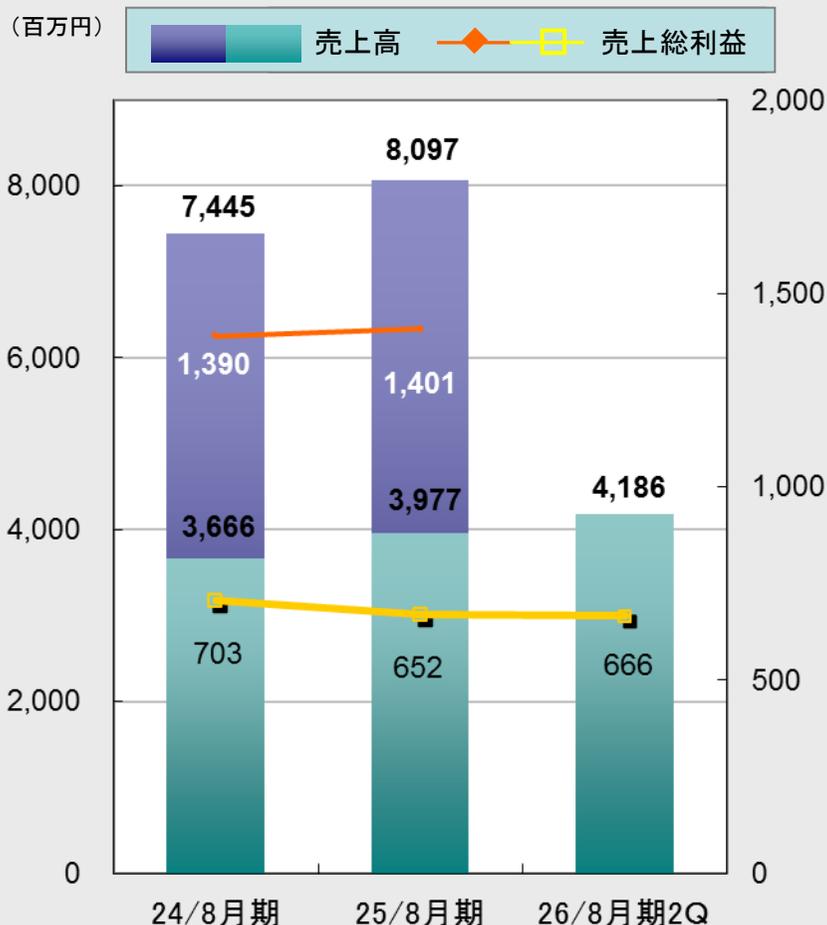


平成26年8月期(2Q投資実績) 485百万円

## 設備投資額の主な内訳

● カラオケ 新店設備(2店舗)	232百万円
● カラオケ リニューアル店舗設備(2店舗)	7百万円
● その他(カラオケ機器、ソフトウェア、既存店設備等)	244百万円

## 店舗売上高・売上総利益の推移



## 客数・客単価(全店・比較可能既存店)

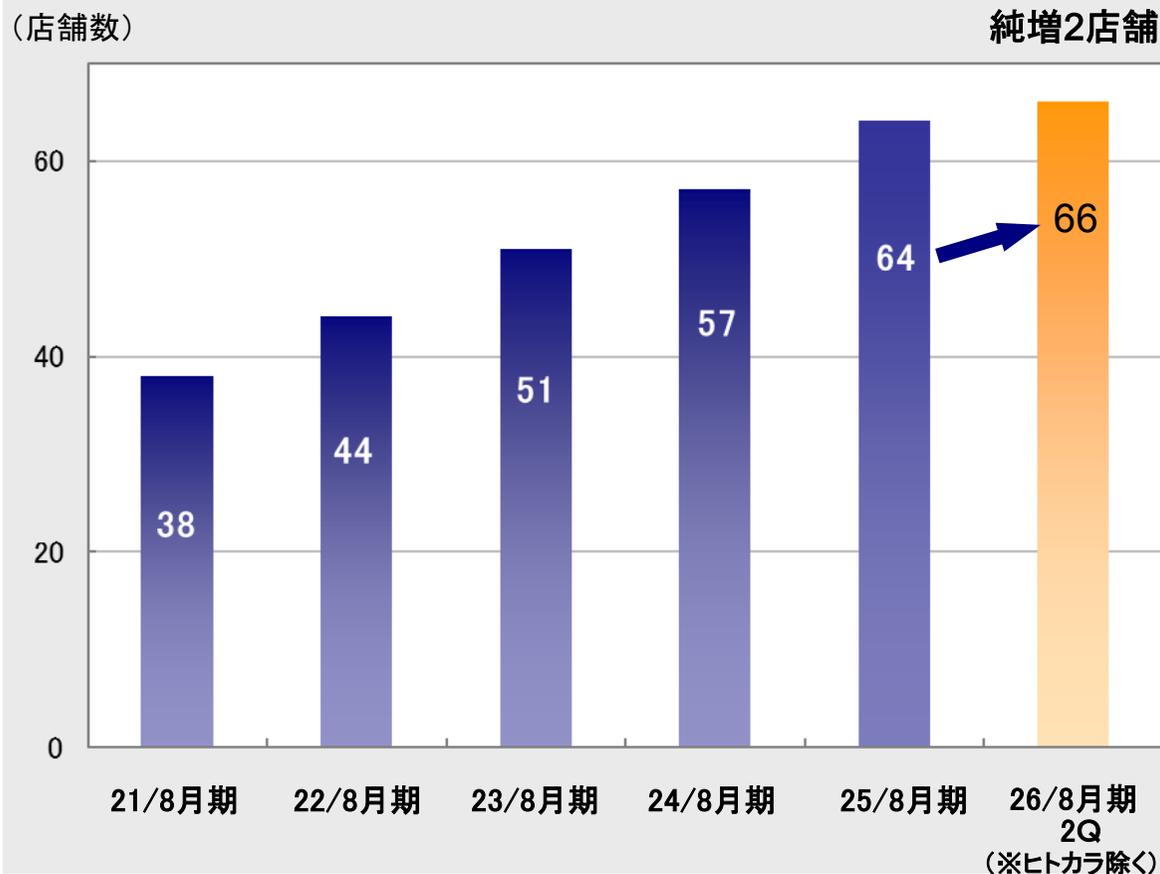
		26/8月期2Q	前年同期比 増減率
来店客数	全店	2,134千人	+2.5%
	比較可能 既存店	1,885千人	▲4.9%
客単価 (税抜き)	全店	1,952円	+2.5%
	比較可能 既存店	1,925円	+0.7%

(※ヒトカラ除く)

- 売上総利益率は、  
全店16.0%(対前年同期比▲0.9%)、  
比較可能既存店16.9%(同▲1.7%)
- 新店イニシャルコストの影響、約31百万円

# カラオケルーム運営事業(国内) [2] 店舗数

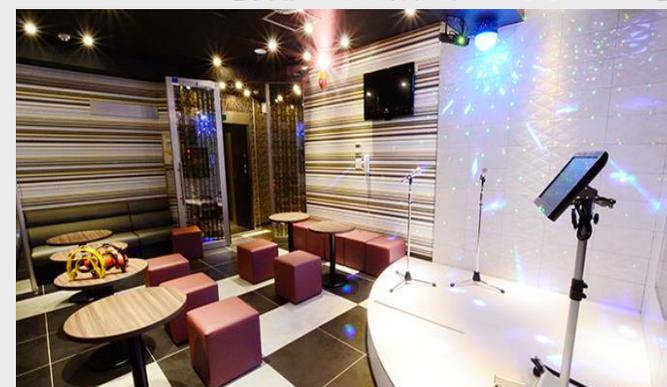
- ◆ 新店 2店舗 (板橋、新橋SL広場) …JRを中心とした駅前型
- ◆ 改装 2店舗 (飯田橋、上大岡)



【板橋店9月オープン】



【新橋SL広場前店10月オープン】



# [3] 平成26年8月期 業績見通し



(単位:百万円)

	25/8月期 (実績)	26/8月期 (修正予想)	増減率
売上高	10,000	10,148	+1.5%
営業利益	346	284	▲17.8%
経常利益	293	218	▲25.4%
当期純利益	42	66	+58.8%
EPS(円)	6.77	10.74	—

- カラオケルーム運営事業:潜在的に収益力の高い店舗の収益改善  
店舗原価の管理強化(販促費、P/Aシフト、光熱費など)
- フルサービス型珈琲ショップ運営事業、CP事業:堅調な収益を確保見込み
- 販管費の支出管理を強化

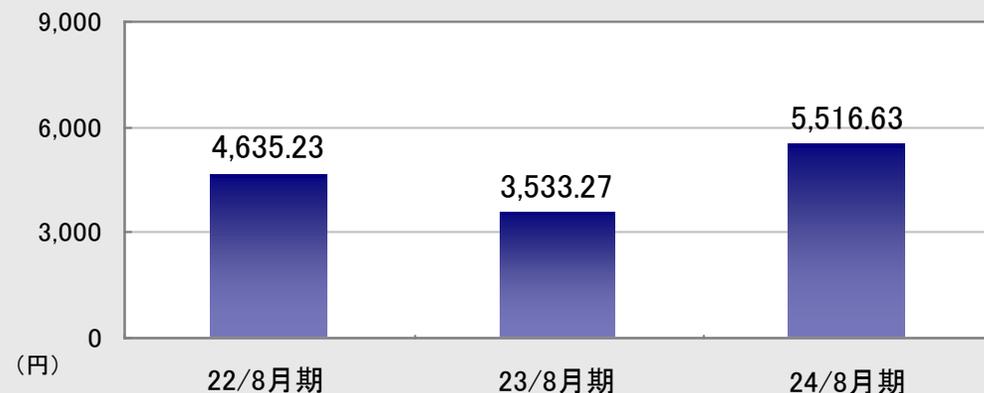
## 配当金の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当



## EPS（1株当たり当期純利益）の推移

(注)当社は、平成25年6月18日を効力発生日として、普通株式1株を200株の割合で分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用しております。平成25年8月期は期首に、当該株式分割が行われたと仮定して配当金及び1株当たり当期純利益の額を記載しております。



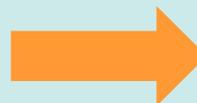
## [4] 今後の展開



今期は足元固めの時期と位置づけ、固定観念に囚われずに、常に謙虚に発想や行動を見直し、組織・事業体制の強化を図る

効果

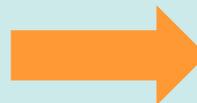
[1] 会社の構造改革



経営基盤の強化

第二創業期を支える筋肉質な経営基盤を構築する

[2] 事業の大胆な見直し



収益の増加

店舗収益の改善、店舗の採算性・将来性の再確認、非中核事業の見直しを行う

[3] 事業の開発



新たな成長エンジンの構築

コンテンツプロバイダー事業の推進による事業構造転換を図る

## 第二創業期を支える筋肉質な経営基盤を構築

### 施策

#### 財務体質の改善

- 営業キャッシュ・フローの増加
- 借入金の圧縮、自己資本比率の向上
- 不採算店舗、非中核事業の見直し

#### 人材の育成

- 経営ビジョンの共有
- 店舗運営／新規事業を担う人材の育成・確保
- プロフェッショナル人材の強化

#### 組織力の強化

- 経営執行会議を通じた経営のPDCAサイクルの実現
- 「チーム鉄人」文化の醸成

## 全店向け協力体制

施策例2

607⑩	使 4 0 0	16:30~19:00		残
701⑫	使 3 0 0	17:00~20:00		残
702⑮	使 2 0 0	16:18~18:18 予約		残 0 予約 12人

ナレッジ・ノウハウの共有 (例: フロント・オペレーション)

施策例1



全店でパックプランの導入

施策例3



全社員一丸となった販促活動

(例: 取引先、家族、友人へのクーポン配布)

## 売上ポテンシャルの大きい 店舗向け協力体制

施策例4



担当のエリア・店舗にかかわらず  
売上ポテンシャルの大きい店舗運営に参画

## 営業キャッシュ・フローの増加に向けた取組みを進める

### 施策

#### 店舗収益の改善

- 店舗運営力の強化
- お客様ニーズにお応えする営業施策の徹底
- 店舗運営コストの削減

#### 店舗の採算・将来性の再確認

- 店舗ポテンシャルの再確認
- 打ち手の速やかな実行・徹底
- 閉店、売却等の速やかな判断・実行

#### 非中核事業の見直し

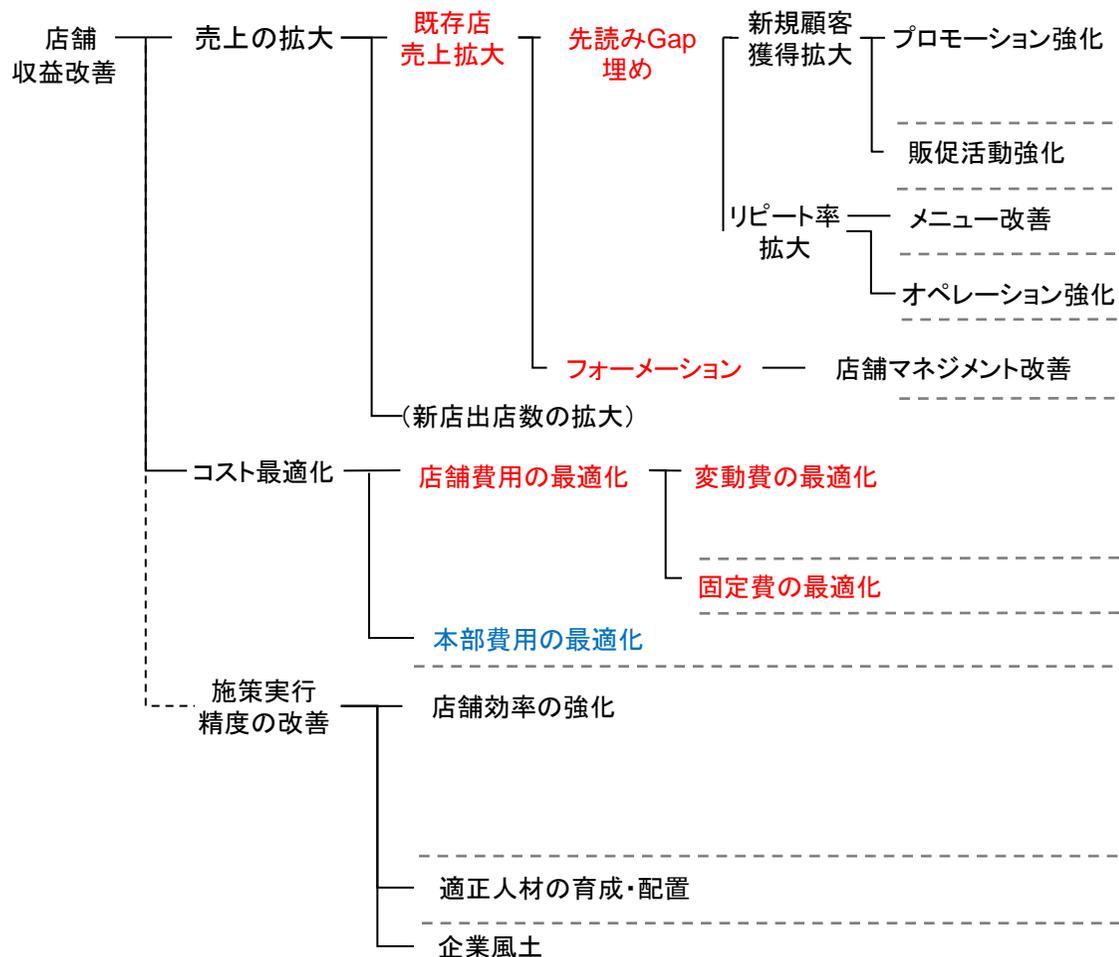
- 海外事業展開の見直し
- 不採算事業の見直しによる財務体質の改善

カラオケルーム運営事業

# 店舗収益の改善に向けたアクションプラン(例)

## 認識課題

## アクションプラン(例)



- ・個店施策の取捨選択
- ・全店施策の再設計
- ・ルールを遵守した積極的な集客
- ・メニュー、価格体系見直し
- ・品質改善に向けた店舗運営強化
- ・適材適所、資源の再配置
- ・取引内容の見直し
- ・売上原価、備品消耗費等の見直し
- ・人件費、設備費の見直し
- ・本部間接部門のBPR、コスト削減
- ・プロモーション費用対効果の検証
- ・売上予測、レイバー管理の強化
- ・費用コントロールの強化
- ・店舗施策の企画、実行力の強化
- ・「チーム鉄人」文化の浸透

赤字: 営業本部、青字: 管理本部、橙字: 部門横断的施策

カラオケルーム運営事業と両輪で持続的な成長を実現すべく、  
コンテンツプロバイダー事業を開発する

## 施策

原盤楽曲・映像の  
配信

- メジャーレーベルの原盤楽曲・映像を充実  
(現在約15,000曲)

100%出資子会社  
「パレード」設立

- カラオケルームを広告媒体にしたメディア向け事業
- コンテンツを活用したPR、販促、イベント制作事業
- アーティストプロモーションや各種イベントの企画・運営事業

新たな事業の開発

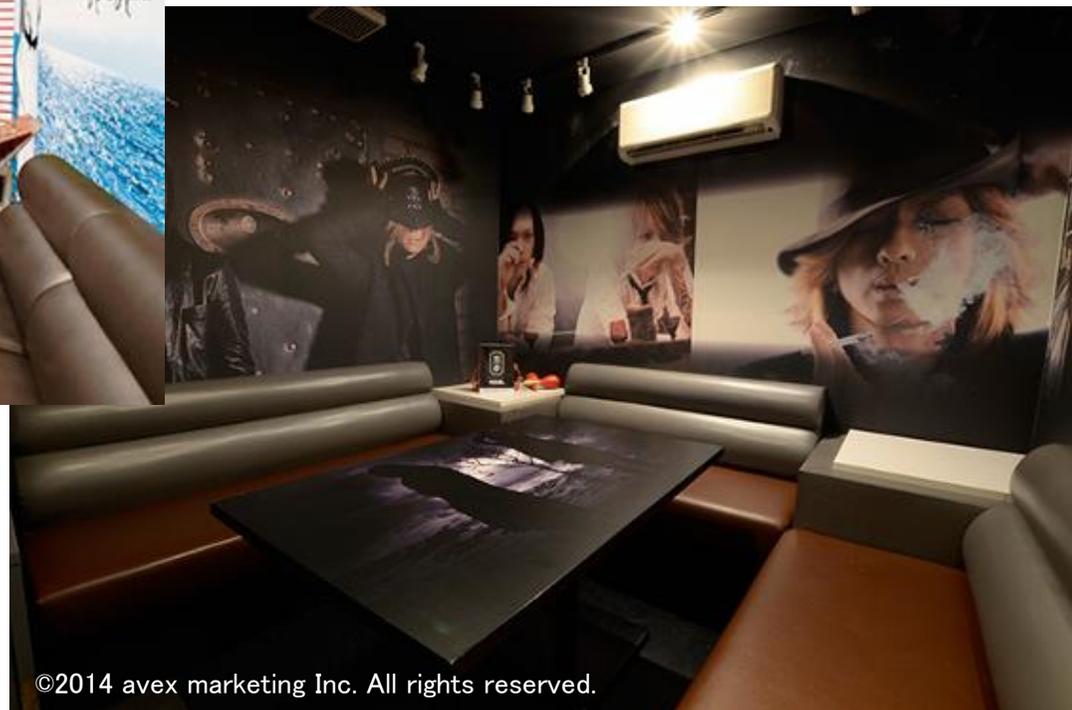
- パッケージ化やマーチャンダイジングの拡充による事業化(収益化)へのチャレンジ

## 倅田來未 × カラオケの鉄人



- ・ 全曲PV付きでCDそのままのリアルサウンドで歌える
- ・ 豪華コラボルームは完全予約制
- ・ 美しくなれるコラボドリンクやオリジナルコースター

- ・ 黒夢からの課題曲で高得点を出すとプレゼント
- ・ 黒夢ルームも完全予約制
- ・ 黒夢がプロデュースしたオリジナルドリンク



## 黒夢 × カラオケの鉄人

ユーザー・コンテンツホルダー・店舗にとって、  
最高のカラオケ・エンターテインメントを実現

カラオケルーム運営事業

運営力強化による  
収益性の向上

コンテンツプロバイダー事業

新規事業の確立に向けた  
取組み

財務体質の改善

- ✓ 営業キャッシュ・フローの増加
- ✓ 自己資本比率の改善

妥協のないプロフェッショナル人材育成

事業基盤の強化

## [注意事項]

本資料で用いられている業績予想、ならびに将来予測はいずれも当社の事業に関連する業界動向の見通しなど、平成26年2月時点で入手可能な情報をもとにした当社の予想を前提としています。これらは市況、競争状況、新製品や新サービスの導入、およびその成否など多くの不確実な要因の影響を受けることがあります。よって、実際の業績は本資料および決算説明で用いる予想数字とは異なる場合があることを、ご了解いただきますようお願い申し上げます。

## 株式会社 鉄人化計画®

執行役員  
管理本部担当  
浦野 敏男

執行役員  
社長室長  
太田 航也

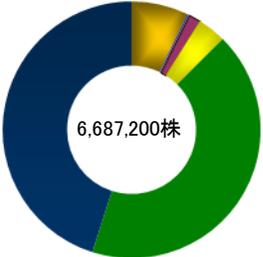
TEL 03-5726-8440 FAX 03-5726-8584

E-mail [web-ir@tetsujin.ne.jp](mailto:web-ir@tetsujin.ne.jp)

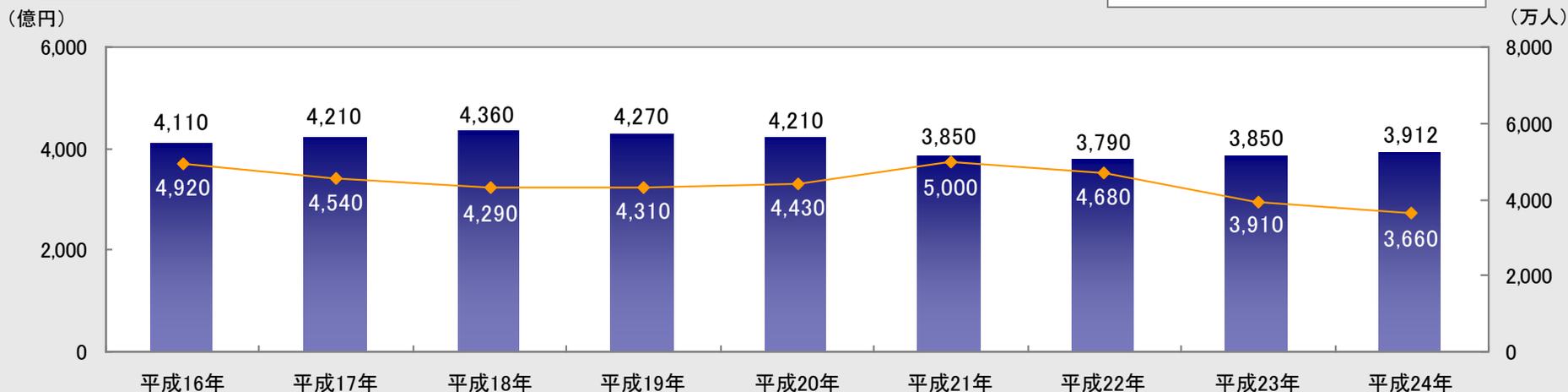
# 参考資料



# 会社概要（平成26年2月末現在）

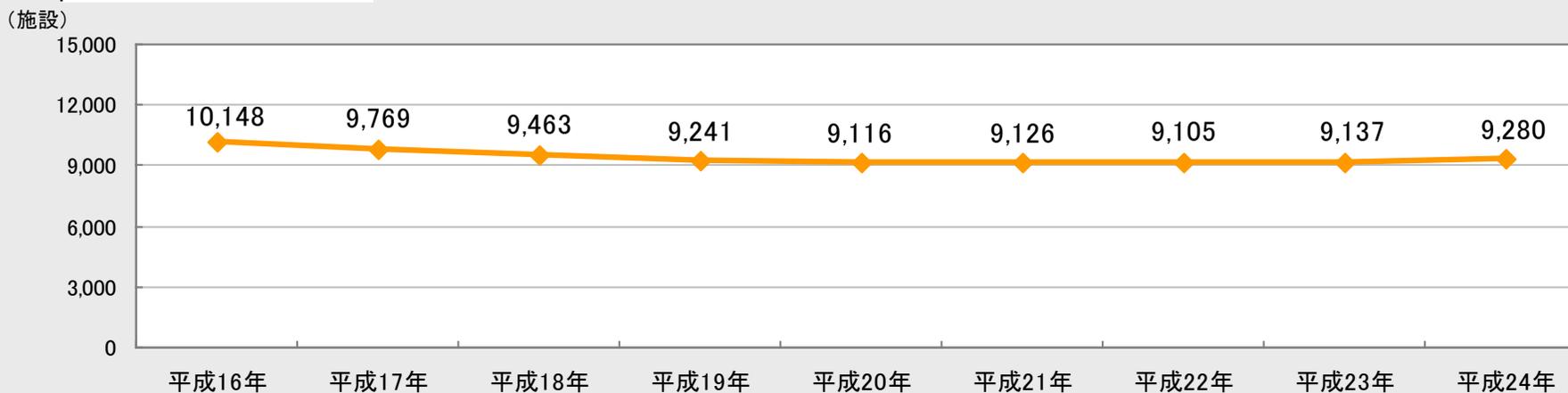
◆ 社名	株式会社 鉄人化計画																									
◆ 設立	平成11年12月14日																									
◆ 本社所在地	東京都目黒区八雲一丁目4番6号																									
◆ 資本金	7億43百万円																									
◆ 事業内容	「カラオケの鉄人」を中心としたアミューズメント施設の運営																									
◆ 役員	<table border="0"> <tr> <td>■ 代表取締役会長</td> <td>日野 洋一</td> <td>■ 執行役員</td> <td>浦野 敏男</td> </tr> <tr> <td>■ 代表取締役社長</td> <td>堀 健一郎</td> <td>■ 執行役員</td> <td>星川 正和</td> </tr> <tr> <td>■ 取締役</td> <td>新禎 武次</td> <td>■ 執行役員</td> <td>太田 航也</td> </tr> <tr> <td>■ 常務執行役員</td> <td>勝 憲司</td> <td>■ 常勤監査役</td> <td>緑河 久彰</td> </tr> <tr> <td>■ 常務執行役員</td> <td>大内 勇一</td> <td>■ 監査役</td> <td>細野 康弘</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>■ 監査役</td> <td>尾堂 孝一</td> </tr> </table> <p>※役員構成は平成26年4月23日時点に記載しております。</p>		■ 代表取締役会長	日野 洋一	■ 執行役員	浦野 敏男	■ 代表取締役社長	堀 健一郎	■ 執行役員	星川 正和	■ 取締役	新禎 武次	■ 執行役員	太田 航也	■ 常務執行役員	勝 憲司	■ 常勤監査役	緑河 久彰	■ 常務執行役員	大内 勇一	■ 監査役	細野 康弘			■ 監査役	尾堂 孝一
■ 代表取締役会長	日野 洋一	■ 執行役員	浦野 敏男																							
■ 代表取締役社長	堀 健一郎	■ 執行役員	星川 正和																							
■ 取締役	新禎 武次	■ 執行役員	太田 航也																							
■ 常務執行役員	勝 憲司	■ 常勤監査役	緑河 久彰																							
■ 常務執行役員	大内 勇一	■ 監査役	細野 康弘																							
		■ 監査役	尾堂 孝一																							
◆ 従業員数	連結 223名 個別 181名（※パートアルバイトは含まれておりません。）																									
◆ 株主構成	<p>【株式等の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行する株式の総数・・・23,712,000株</li> <li>・発行済株式総数 ……………6,687,200株</li> </ul> <p>【株式の所有者分布状況】</p>  <table border="0"> <tr> <td>● 自己名義株式</td> <td>476,600株</td> <td>7.13%</td> </tr> <tr> <td>● 外国人</td> <td>14,000株</td> <td>0.21%</td> </tr> <tr> <td>● 金融商品取引業者</td> <td>103,245株</td> <td>1.54%</td> </tr> <tr> <td>● 金融機関</td> <td>241,500株</td> <td>3.61%</td> </tr> <tr> <td>● 事業法人、その他法人</td> <td>2,837,901株</td> <td>42.44%</td> </tr> <tr> <td>● 個人、その他</td> <td>3,013,954株</td> <td>45.07%</td> </tr> </table>		● 自己名義株式	476,600株	7.13%	● 外国人	14,000株	0.21%	● 金融商品取引業者	103,245株	1.54%	● 金融機関	241,500株	3.61%	● 事業法人、その他法人	2,837,901株	42.44%	● 個人、その他	3,013,954株	45.07%						
● 自己名義株式	476,600株	7.13%																								
● 外国人	14,000株	0.21%																								
● 金融商品取引業者	103,245株	1.54%																								
● 金融機関	241,500株	3.61%																								
● 事業法人、その他法人	2,837,901株	42.44%																								
● 個人、その他	3,013,954株	45.07%																								

## 市場規模と参加人口の推移



出所:「レジャー白書2013」

## 施設数の推移

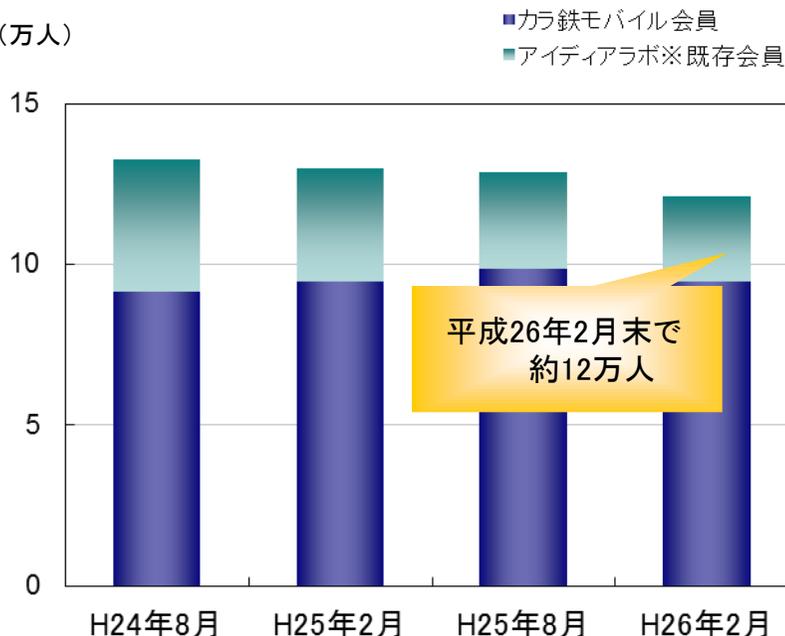


出所:「カラオケ白書2013」

- **モバイル公式サイト「カラオケの鉄人モバイル」は堅調に推移**(平成26年2月末:約12万人)
- **店舗会員数も200万人を超え順調に推移**(平成26年2月末:約221万人)

## モバイル会員数の推移

(万人)



## 店舗会員数の推移

(万人)

